



進級 おめでとございます

いよいよ 最上級生です！



新年度が始まって第1週が終わろうとしています。みなさんは、期待に胸を膨らませ、3年生としての新しい生活をスタートさせたことと思います。今のこの気持ちを大切に、進路の実現を目指して、今年1年間頑張ってください。

中学校生活の最後の年として、自分自身を見つめなおし、自分の進路を切り拓いていかなければなりません。自分の進むべき道 **My Course** を真剣に考えるとともに、学力を向上させ、人間性をさらに豊かにしながら、自分の目標に向かって全力で取り組んでいくことが大切です。また、最上級生としての自覚をもち、生徒会活動や部活動での良きリーダーとして活躍し、心に残る充実した1年にしたいものです。

さて、県北中学校進路指導部では、進路通信 **My Course** を発行し、進路実現に向けてのアドバイスや進学・就職などに関する最新の情報を随時伝えていきたいと思っています。また、進路に関する悩みや疑問点などにも可能な限り答えていきたいと思っていますので、何かありましたら遠慮なく相談してください。

☆☆☆ 進路実現までの展望 ☆☆☆

自己実現のための大切な1年をどのように過ごすか？

- 4月 新年度スタート
修学旅行、授業参観
- 5月 生徒会総会、中体連陸上
中間テスト、学校訪問
- 6月 中体連総合、期末テスト
高校説明会、進路希望調査
- 7月 授業参観、県中体連
三者面談、体験入学



1年間の計画立案（学習・進路）

生徒会活動、部活動などへの積極的な参加

進路の方向付け／受験勉強 本格的にスタート

あわただしい1学期

- 8月 体験入学
- 9月 中体連駅伝
進路希望調査
- 10月 中間テスト、柏葉祭
幼小中一貫事業
二者面談
- 11月 授業参観、期末テスト、
進路希望調査、三者面談
- 12月 受験校決定、出願準備
面接・小論文練習



夏休み中に これまでの学習の総復習を！

学校行事への積極的な参加

自分の実力をさらに伸ばしていく！
（実力テスト／7月から月1回程度）

進路選択（受験校の決定）

行事が盛り沢山の2学期

- 1月 私立高校推薦入試
私立高校一般入試
期末テスト
- 2月 県立Ⅰ期、授業参観
生徒会総会、3送会
- 3月 同窓会入会式
卒業式
県立Ⅱ期
私立2次、県立Ⅲ期



最後の追い上げ

進路の決定

3年間のまとめ

4月に向けての準備

決戦の3学期！

自分の進路を考えてみよう!



『進路』ってなに?
 「進路」には、次の3つの意味があるといわれます。

- ① 将来、何を大切にして、どのように生きていくか。
- ② 将来、どのような職業に就くか。
- ③ 中学校卒業後、どこに就職するか、または進学するか。

進路を決定する際には、③だけを考えればよいというものではありません。①→②→③の順で考えていくのが理想です。

将来どんな生き方をしたい?
 職業を決めるときに、経済的なこと、自分の個性、社会への貢献等を考えて決めなければなりません。その際に、何に重点を置くかで、おおよそ次のようなタイプの生き方が考えられます。

タイプ 1 経済的に豊かな暮らしを大切にする生き方
 タイプ 2 自分の趣味や個性を大切にする生き方
 タイプ 3 世の中や人々のためになることを大切にする生き方

あなたは、どのタイプの生き方を望みますか。

自分にあった進路を
 進路選択あるいは決定にあたって大切なことは、「自分にあった進路を見つけること」です。個性を伸ばし、生き生きとした生活の中で自分の将来に希望がもてるような選択こそ、「自分にあった選択」と言えます。その土台となるものの一つに自己理解があります。性格や行動、趣味や特技、職業に対する興味・関心、身体的条件や運動能力、学業成績、家族の期待など、自分をとりまく状況を正しく理解することにより、より望ましい選択が可能になります。

進路選択の基本

- ① 自分自身の意志と責任で最終的に進路を決定することが自分を成長させる。
- ② 選択した進路は現状では最良のものだと考えることが後で悔いを残さない。
- ③ 進路決定は最終ゴールではなく新たな世界へのスタートであると考えよう。

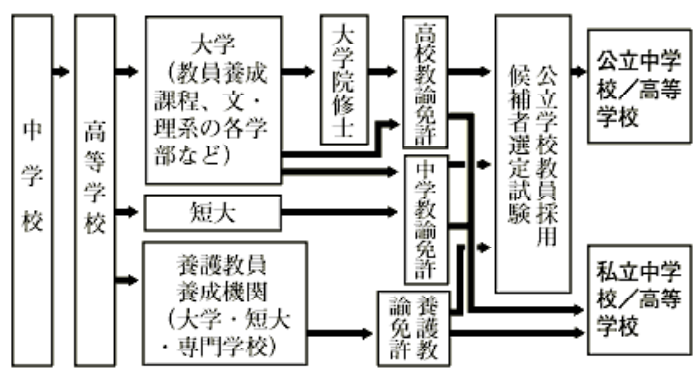
ホームページ紹介 『生徒のひろば 夢L@nd』



http://www.j-n.co.jp/kyouiku/yume/yume_top.html

「仕事発見ルーム」には、中学校卒業後から仕事に就くまでの経緯や適性、アドバイスなど、たくさんの情報が職業ごとにまとめられています。(例：中学校・高校教師)

- 中学校の大半と、高等学校の5分の4が公立であり、それ以外が私立、国立となっています。したがって、中学校・高等学校の先生のほとんどが地方公務員です。
- 多感で活動的な時期の生徒が相手だけに神経を使うことも多く、また生徒が帰ったあとも、遅くまで残って仕事をすることもあり、労働時間は長くなりがちです。
- 担当する教科についての専門的な知識・技能はもちろん必要ですが、生徒を指導する熱意や根気強さも大切です。多感な年代の生徒が相手ですから、豊かな感受性も求められます。



お知らせ

進路に関する様々な情報は、随時発行される本紙 進路通信『My Course』にてお知らせしていきますが、授業参観日に行われる懇談会の中でも詳しく説明をします。第1回は、4月21日(金)授業参観後にある学年懇談会の中で大切な資料をお配りし、来年3月までの予定を確認したいと思いますので、ご参加いただけますようよろしくお願いいたします。尚、進路通信『My Course』は、本校ホームページ(http://www.kunimi.gr.fks.ed.jp/?page_id=35)にもPDFファイルとして掲載しますので、ぜひご覧ください。スマホ等からも閲覧可能です。